

一 般 質 問

令和6年第4回（12月）定例会

通告順	議席番号	議 員 名	ページ
1	1 1 番	糸 井 政 樹	2
2	1 9 番	渡 邊 光 子	4
3	1 0 番	細 谷 文 人	6
4	6 番	岩 崎 隆 志	7
5	2 番	渡 邊 広 美	8
6	4 番	砂 川 和 也	10
7	1 3 番	浦 田 充	12
8	9 番	近 本 あんな	14
9	1 番	仲 又 清 美	15
1 0	1 7 番	にいつま 亮	19
1 1	1 8 番	江 森 誠 一	20
1 2	7 番	榊 萌 美	21
1 3	3 番	渡 辺 ま や	23
1 4	5 番	北 村 あやこ	25
1 5	8 番	須 山 陽一朗	26

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は
1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

1 1 番 糸井 政樹

1. 小野市長の3期目における市政運営の総括と来年4月に行われる市長選挙の進退について

平成25年、市長に就任した小野市長は残り4か月程で3期目が満了しようとしています。

- (1) 12年間の市政運営を総括し、その評価をどのように捉えているのか伺います。
- (2) 就任当時の平成25年における市債残高と現在の市債残高の推移をお示しいただき、今後も財政難が続くと言われている現在、令和7年度の予算編成をどのように捉えているのか伺います。
- (3) 未来に向け桶川市の重点課題はどのようなものがあると考えていますか。

2. 市内の地域公共交通について

全般的に地域公共交通の運営は厳しい状況にあります。人口減・少子高齢化などを背景に地域の公共交通事業は長年にわたって採算の悪化が進んでおり、コロナ禍以前から地方圏では9割近くの路線バス事業者が赤字の状態であります。また、労働人口不足を背景に事業の担い手不足も進んでおり、道路運送事業の運転者の6割以上は55歳以上と高齢化が進んでいる状況であります。

- (1) 来年3月に道の駅「べに花の郷おけがわ」がいよいよ開業しますが、道の駅へのバスのルートはどのような計画になっているのか伺います。
- (2) 現在の試験運行から本格運行への移行はどのような計画になっているのか伺います。またいつ、本格運行になるのか伺います。
- (3) 当市では現在の市内循環バス運行以外に、デマンドバスやデマンドタクシーなど他の交通手段の計画は行われているのか伺います。

3. 桶川市の教育について

13年前に起こった東日本大震災は東北地方を中心に甚大な被害を残しました。千年に1回といわれる自然災害でしたが、東北各地では自然災害伝承碑が建てられたり計画がされていますが、言葉の移り変わりにより時が経つとその内容が伝わらないことが危惧されています。現在SNSなどが発達する中、日本語が乱れていると言われております。GIGAスクールのタブレットの運用課題とともに伺います。

- (1) 文化庁も現時点では承知しかねるとしている、いわゆる「ら」抜き言葉や間違った言葉の使い方などについて当市の教育委員会はどのような対応をしているのか伺います。
- (2) タブレットの端末故障などで修繕や交換の費用がかさんでいるようですが、現状と今後の対策について伺います。

4. 市内公園の管理について

市内の27の都市公園は指定管理により桶川市シルバー人材センターが管理・運営を行っており、市内70の児童遊園地はその自治会の皆様が管理しています。

- (1) 児童遊園地70か所の管理状況はどのようなになっているのか伺います。
- (2) 自治会以外が管理している遊園地はありますか。あればその理由を伺います。
- (3) 管理している自治会からの課題や要望はどのようなものがありますか。

19番 渡邊 光子

1. 市役所の「すぐやる課」等について（以下、ともに市長に問います）

(1) 公務員の市民へのサービスの一環として、市民が訴えた事柄に対してすぐ対応するという「すぐやる課」等の市役所職員の方針を伺います。

(2) 現場は手押し信号の上に、隣地の枝がかかり信号が見えづらく、通学路でもあり雨天等では枝が雨傘にかかり危険でもありました。8月に市民の訴えにより道路河川課に伝えましたが、11月12日になってもまだ対応がされず、担当職員に「現場へすぐ来るように」と言いました。担当が言うには「警察で対応する」、また「地権者に会いに行ったが会えなかった」と言う。そこで私は語気を強めて「事故は待ってはくれない。やる気があれば、地権者に会える時間でもある、早朝や夕方等に行き、地権者に会える努力をしたらどうか」、また「地権者宅へ行き詳細を書いた手紙を置いてくる」等を伝えました。結果として11月13日に担当から「昨夜7時に出向き地権者に会えて、「早期に枝を切ります」という返事をもらいました」という電話がきました。そこで伺います。

① 早朝や夕方等の通常の勤務時間外の職員の勤務はどのようなことになるのか伺います。

② 今回の場合の件には、警察署、市役所道路河川課それぞれにどのような役目を負うのか伺います。

(3) 泉2丁目JR公園について

児童公園の高木、低木は危険防止のために、公園内が見渡せるように剪定するのが望ましい。7月頃だったか、公園内の小高くなっている所のツツジの根元から小枝が茂り、見通しが悪いので小枝の伐採を依頼し、また藤の枝が高木の上部まで伸びている。早めの藤の枝の剪定が必要等を担当課に依頼した。間違っていたら申し訳ありませんが、その後の8月14日に依頼した公園の整備が行われていなかったので都市整備部長も同席したところで「昨年までは依頼すると担当職員は早々に対処した」と言ったところ、都市整備部長は言う「当時私は課長だったが、そんなに早い対処はしていないですよ」、そこで伺います。

① 市民の依頼に対して、早々の対応が望ましいのか。都市整備部長が言うように、早い対応はしなくてよいのか伺います。

2. 川田谷泉線の残地の公売について

令和5年度の財政状況は、県内40市の中で桶川市は上から29番目に位置し、何かと言うと「財源がありません」と財源不足を主張されます。財源確保のために川田谷泉線沿いにある泉2丁目364の9、及び364の504の土地は、住宅を建てる等にもそれぞれ必要な面積があります。公売にて市民に開放することを伺います。

3. 桶川市ハート・アンド・ハンド道路サポート制度について

- (1) 当制度の実施要項第12条に「市長は、道路サポート活動が優れていると認められるサポーターに対し、表彰することができる」とあります。過去に表彰したことがありましたら紹介してください。
- (2) 私が代表する桶川ふる里会では道路河川課担当の勧めで桶川市ハート・アンド・ハンド道路サポート制度に加入して既に10年は経過しています。(1)で言う表彰は、道路河川課で推薦して表彰されるものと思っています。表彰について伺います。

4. 公道の高木植樹について

- (1) 区画整理や都市計画等で公道の形は整ったが、植樹帯に未だ植樹されていないところがある。早期の高木の植樹を伺う。
- (2) 何らかの理由で高木がなくなったところがあり、植樹されずじまいのところが多くある。高木がなくなった時点で順序よく、早めに植樹をすることを伺います。
- (3) 既に家が建ち、出入り口に影響がない場所で「高木の植樹をしないでほしい」との市民の訴えで、植樹しないところがあると聞いた。どこか伺う。

10番 細谷 文人

1. 道の駅と防災道の駅について

(1) 道の駅について

- ① 周辺の市有施設は、道の駅に対して、どのような役割を果たすか。
- ② 販売予定の生活必需品、地場産品、加工品などの準備状況はどうなっているか。
- ③ インバウンドへの対応はどのようになっているか。
- ④ PR方法はどのようにするか。
- ⑤ 地域の雇用は創出されているか。
- ⑥ 交通弱者のアクセスに支援はあるか。
- ⑦ 施設オープン後、黒字化してゆくためにどのような計画があるか。
- ⑧ 道の駅来場者が移住へと向かうプロセスは、どのように描いているか。
- ⑨ 桶川市民の指定避難所・指定緊急避難場所となるのか。

(2) 防災道の駅について

- ① 防災道の駅と道の駅の違いはあるか。あれば、具体的にどういうことか。
- ② 防災道の駅への進捗状況はどうなっているか。
- ③ 国から本市への、資金と資材などの支援はどのようなものがあるか。
- ④ 防災道の駅が果たす、国への、桶川市民への、役割はどのようなものがあるか。
- ⑤ ドローンポートの計画はあるか。

2. 野生動物について

(1) 野生動物に関する苦情について

- ① 年間の苦情件数は。
- ② 最も苦情が多い生物は。
- ③ 本市の対応は。

6 番 岩崎 隆志

1. 南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模地震への備えとしての安全な選択肢「桶川市」の強みと住みやすさをアピールし他市からの流入を推進するについて

- (1) 関東大震災の際に桶川市が比較的被害が少なかった理由について詳しく教えてください。
- (2) 桶川市の人口動態（社会動態と自然動態）はどのように推移していますか。
- (3) 桶川市の地震対策や防災インフラの具体的な取組について、どのような例がありますか。
- (4) 圏央道や上尾道路の交通の利便性が、住みやすさにどのように影響しているのでしょうか。
- (5) 首都圏へのアクセスが良い桶川市の住環境の良さや手頃な土地価格について教えてください。

2. 高齢者の移動支援、市内循環バス「べにばなGO」の年間フリーパス導入の必要性について

- (1) 導入にあたり、予算や運営面での課題について教えてください。
- (2) 「べにばなGO」の年間フリーパスが高齢者の外出頻度にどのような影響を与えとお考えですか。

3. 水害から市民を守るための具体策について

- (1) 現在の桶川市内の雨水管の処理能力について教えてください。
- (2) 雨水管の能力を超えたときの雨水貯留施設の計画について、どのように検討されていますか。
- (3) 緑地の増加や植栽による雨水流出抑制の効果について伺います。

2 番 渡邊 広美

1. 投票率向上のための取組について

(1) 投票率向上のための意識啓発について

- ① 不在者投票の投票率について伺う。
- ② 不在者投票の電子申請の導入について伺う。
- ③ 若年層への投票啓発の取組について伺う。

(2) 誰もが投票しやすい環境づくりについて

- ① 病院、介護施設の投票所の現況について伺う。
- ② 期日前投票率について伺う。（5年間の推移）
- ③ 東側の期日前投票所設置の方向性について伺う。

(3) 高齢者や障害者の投票環境について

- ① 投票所での手助けをする投票支援カード導入について伺う。
- ② コミュニケーションボードの活用状況について伺う。
- ③ 車椅子等の投票所での配慮について伺う。

2. 誰1人も取り残さない防災、減災の対策について

(1) 避難行動要支援者の対応について

- ① 避難行動要支援者の登録者数について伺う。（5年間の推移）
- ② 避難行動要支援者の認定基準、認定の流れについて伺う。
- ③ 対象者への周知方法について伺う。
- ④ 個別避難計画について伺う。

(2) 防災教育について

- ① 防災教育の目的、現況について伺う。
- ② 防災教育の課題について伺う。

(3) 避難所での対応について

- ① 避難所運営マニュアルの活用状況について伺う。
- ② 避難所初動キットの活用性について伺う。
- ③ ペット同行避難の周知方法について伺う。

(4) 誰でも参加できる防災フェアについて伺う。

3. 若者の移住、定住、子育てのまち桶川について

- (1) 若者世代の移住、定住促進の方向性について伺う。
- (2) 移住、定住の新たな発信サイト導入について伺う。

(3) 子育て支援の促進について

- ① 誰でも通園制度の導入について伺う。
- ② 子育て専用アプリ（申請ができる）方向性について伺う。
- ③ 市内の保育施設のおむつサブスク、持ち帰りの現況について伺う。
- ④ 西側児童館ができるまでの児童館交通費（夏休み期間）支援の方向性について伺う。

4. 母子を支える産後ケア事業について

- (1) 産後ケア（デイ、アウトリーチ、宿泊）の実績について伺う。
(それぞれの資料希望)
- (2) 産後ケアの利用方法について
 - ① 利用希望者の面接方法について伺う。
 - ② 利用決定の条件について伺う。
- (3) 産後ケア事業の開始から現在までの課題について伺う。

4 番 砂川 和也

1. 地域産業の振興に向けた道の駅開業について

(1) 道の駅開業の準備状況について

- ① 販売登録状況と販売契約の進捗状況は、どのようになっていますか。
- ② 開業時やイベント開催時の渋滞、混雑対策は、どのように考えていますか。
- ③ 周辺施設や市内商店等への誘導に向けた進捗状況は、どのようになっていますか。

(2) 市が進める地域産業の進捗状況について

- ① 農業の6次産業化は、どのようになっていますか。
- ② 特産品の開発状況は、どのようになっていますか。

(3) 開業後の地域産業の振興について

- ① 地域産業振興の推進体制を強化することについて考えていますか。
- ② ブランド化やブランド認証など、付加価値を創出することは、考えていますか。
- ③ 市内資源を活用した農業、商業、工業のコラボレーションは、考えていますか。

2. いずみの学園及びいずみの家の跡地利用について

(1) 移転の進捗状況と解体時期について

- ① いずみの学園はどのようになっていますか。
- ② いずみの家はどのようになっていますか。

(2) 解体後の跡地管理について

- ① いずみの学園といずみの家を合わせた利用可能面積と地目を伺います。
- ② 地域が安心できる管理方法は、どのように考えていますか。

(3) 路線バスステーションとしての検討について

- ① 市内バス休憩所の現状と課題について伺います。
- ② ハザードマップによる指定状況と跡地への影響について伺います。
- ③ 荒川水系流域治水プロジェクトによる跡地への効果について伺います。
- ④ 跡地を利用する場合の規制や条件について伺います。

3. 強盗犯、窃盗犯から市民の命を守るために

(1) 強盗犯、窃盗犯の手口について

- ① 強盗、窃盗犯の犯罪件数は、どのようになっていますか。
- ② ターゲットになり得る情報は、どのような方法で集めているのか伺います。
- ③ 不審者、怪しい訪問販売との関連性と認知件数について伺います。

(2) 訪問販売について

- ① 訪問販売の特徴は、どのようになっていますか。
- ② 市民からの相談件数、苦情件数を教えてください。
- ③ 市民からの相談内容、苦情内容は、どのようになっていますか。

(3) 不審者等から地域を守る対策について

- ① 防災無線及び情報メールの項目別の活用状況について教えてください。
- ② 市民からの相談、苦情への対応は、どのように行っていますか。
- ③ 市民から寄せられた相談、苦情の市民への周知は、どのように行っていますか。

1 3 番 浦田 充

1. 駅西口デッキの維持管理について

(1) 修繕方法について

- ① 橋梁の修繕は、事後保全と予防保全という方法があるが、駅西口デッキの保全はどちらの方法を採用しているのか伺う。
- ② マインから寄贈されてから、これまでの各定期点検における判定結果を伺う。(資料配付)
- ③ これまでの大規模改修の履歴とその改修内容を伺う。(資料配付)
- ④ 今年度の大規模改修の意義について
ア. 改修内容と予算を伺う。
イ. 今回の大規模改修により、今後、何年間供用する計画なのか。
- ⑤ デッキのマイン側に、エレベーターを増設するデメリットを伺う。

2. 選挙対策について

(1) 投票所の運営等について

- ① 東西の拠点となっている公共施設に共通投票所を設置できないか伺う。
- ② 事前に配布される投票所の案内と同じものをホームページに掲載し、ダウンロードできるようにできないか伺う。
- ③ 過去5年に執行された選挙における投票済証の交付枚数を伺う。
- ④ 現在の投票済証の書式を伺う。(資料配付)
また、投票済証のデザインを工夫し、選挙への関心を高めるような工夫ができないか、見解を伺う。
- ⑤ 東武ストアで実施された選挙割について、見解を伺う。

3. 相談支援センター及び桶川市障害者就労支援センターへのアクセスについて

(1) 事業者への交付金等について(資料配付)

- ① 現在地に設置された際に交付した補助金の有無、金額及び内訳を伺う。
- ② 過去5年の委託料等の金額の推移と積算根拠を伺う。

(2) 施設のバリアフリー状況について

- ① 相談支援センター及び桶川市障害者就労支援センターの施設のバリアフリー状況について、本市がどのように考えているのか伺う。

- ② 委託の要件として、施設のバリアフリー基準はあるのか、内容を伺う。

(3) 施設の立地について

- ① 桶川市の中心から離れた場所に設置された経緯を伺う。
- ② 市役所やマインなど、駅の近くへの移転やサテライト等の設置について、本市の方向性を伺う。

9 番 近本 あんな

1. 乳幼児の誤嚥による窒息時の救命方法の講習について（6月議会より引き続き）
 - （1） 6月議会で実技を取り入れた講習について検討すると答弁があったが、検討結果を伺う。
2. 特定妊婦や、そのパートナーへの支援について
 - （1） 本市における特定妊婦の人数と総妊婦数での比率を過去5年分伺う。
 - （2） 予期せず妊娠した男女への支援はどのようなものがあるのか。男女別で支援内容を伺う。
3. 公園や駅周辺でのポイ捨てゼロ、ゴミゼロに向けて
 - （1） 公園や駅周辺からゴミ箱が撤去された時期と理由を教えてください。
 - （2） 公園や駅周辺にゴミ箱を設置する場合の課題を伺う。
 - （3） 「桶川市ハート&ハンド道路サポート制度」の登録者の活動実績について伺う。
4. 車道へ自転車通行帯の設置を求める。
 - （1） 車道へ自転車通行帯の設置をする場合、担当課は安心安全課か道路河川課か。協議の内容と現状は。
 - （2） 第六次総合計画では「特に自転車事故が多い傾向にある」と記載があるが、こういった内容の自転車事故が多いのか。またその対策は。
 - （3） 市道で自転車歩行者道の設置が実施、もしくは検討されている場所はどこか。

1 番 仲又 清美

1. 安心して暮らせる住環境について

(1) 特定再生資源屋外保管業（スクラップヤード）に関する規制について

昨年の12月議会の一般質問で、スクラップヤードに隣接する市民から、ヤードの管理が悪く安心して住めないとの声を受け、条例を独自に定める自治体の例を参考に、本市の条例制定の方向性を伺いました。たまたま、同時期に埼玉県議会から、「特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」の制定について議員提案があり、答弁では、県の動向を見て検討するとのことでした。

私からは、現法では、リサイクルを目的とした規制ができないとはいえ、現在も住宅に隣接しているスクラップヤードが生活を脅かすようであれば、市として、条例ができるまでの間は、強い態度で市民の生活を守っていただきたいと申し上げましたので、この間の経過等、改めて、3点伺います。

- ① 一般質問から約1年が経過したが、この間、市内のスクラップヤードに関する苦情等があったか伺う。
- ② 昨年の答弁では、市内のスクラップヤードの件数を把握していないとのことであったが、その後、現状を把握し安全な管理ができているか調査を行ったか伺う。
- ③ 県議会に提案のあった「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」が、令和6年7月9日に公布され、令和7年1月1日より施行される運びとなったが、市内の特定再生資源屋外保管業者への周知について伺う。

(2) 今夏のゲリラ豪雨による市街化区域の住宅地の内水氾濫について

8月、激しい雷を伴うゲリラ豪雨は、市街化区域においても、未だかつてなかった道路冠水、及び住宅地の床下浸水等が起きました。9月議会においても、先番議員が取り上げていましたが、改めて、3点伺います。

- ① 市街化区域において、未だかつてなかった道路冠水、及び住宅地の床下浸水等が起きた箇所の調査状況について伺う。（※地区別の件数が分かる資料希望）

- ② 40年来、床下浸水が起きたことがなかった坂田地区の小松団地の床下浸水被害の原因について伺う。
- ③ 今夏、初めて内水氾濫のあった市街化区域の住宅地の防災対策の方向性について伺う。

2. 小さな声に耳を傾けた思いやりのある支援について

(1) 都市公園のトイレ環境について

先だって、グラウンドゴルフなど、坂田の宮前公園を利用している方から、トイレに手すりを付けてほしいと要望をいただき、担当課につながりました。

特に、高齢になると筋力が低下し、和式はもとより、たとえ洋式便所であっても、立ち上がりが困難なことがあることから、改めて、2点伺います。

- ① 各都市公園のトイレの現況と手すりの設置状況についても伺う。
(※洋式、和式、手すり等、各トイレの概要について資料希望)
- ② 宮前公園利用者から要望のあったトイレの手すり設置の方向性について伺う。

(2) 市民ホールのトイレ環境について

私事ですが、現在治療中の疾病で、ステロイドを服用しているため、ステロイドミオパチーと言う筋肉が萎縮してしまう副作用があり、一過性ではありますが、手すりにつかまらなないと、立ち上がるのが困難になってしまいました。

そして、市民ホールのトイレを利用したところ、つかまるところがなく、身をもって感じたことから、改めて、2点伺います。

- ① 市民ホールのトイレの概要について伺う。(※各トイレの概要について資料希望)
- ② 思いやりのあるトイレ環境にするための手すり設置の方向性について伺う。

(3) 若年（AYA世代）末期がん患者ターミナルケア（在宅療養支援）について

令和5年3月議会の一般質問で、市内の若年（AYA世代）末期がん患者さんの現況について伺ったところ、残念ながらお亡くなりになった方が、令和元年に3人、令和2年では、お1人いらっしゃる事が分かりました。

現在の制度では、AYA世代と言われる小児慢性特定疾病医療給付制度の対象者でない18歳以上40歳未満の在宅療養の末期がん患者

さんには、障害者支援や高齢介護支援のような制度がありません。

そこで、本市に対し、速やかな在宅支援の構築を求めてから1年半以上が経過したことから、改めて、3点伺います。

- ① 令和3年以降の若年（AYA世代）末期がん患者さんの現況について伺う。
- ② 上尾市は、本年4月から「若年がん患者在宅療養生活支援事業」を開始した。本市は、なぜ、近隣市の先進事例を参考にして、速やかに支援の構築ができなかったのか伺う。
- ③ 同じく、令和5年3月議会の一般質問にて、市長からは、「AYA世代の終末期における在宅医療の具体的支援策について、早期に検討してまいりたい」との前向きな答弁を頂きましたが、今年度事業には反映されず、とても残念だった。

本市において、若くしてがんを患い、終末期を迎える患者さんがいないことを願うところであるが、支援が必要な方のために、最後まで寄り添い、思いやりのある「若年がん患者在宅療養生活支援事業」の早期実現について、市長の考えを伺う。（※市長答弁希望）

3. 予防接種事業について

（1）子宮頸がんが予防できるHPVワクチン接種について

令和6年度で、高校1年生、及びキャッチアップ対象者の合計12学年分の方々全員の無料接種時限措置が終了するため、国は、自治体に対して、対象者への周知の強化と再勧奨するように通達しました。

そこで、令和6年3月議会の一般質問において、今年度中に3回接種するには、9月に1回目を接種しないと期限内に無料接種が完結しないことから、対象者に対し、その旨の情報を個別に再勧奨していただくよう要望しました。

本市は、個別通知や広報などで周知し、再勧奨をしてくださいましたが、その現況と効果等について、改めて、2点伺います。

- ① 今年度（令和6年度）接種期限を迎える高校1年生とキャッチアップ接種対象者の接種率、及び定期接種（無償）が令和7年3月で終了することへの周知方法についても伺う。（※接種率について資料希望）
- ② 現在の中学3年生（令和7年度に高校1年生になる生徒）は、新年度（令和7年度）に定期接種（無償）の期限が終了するため、対象生徒の接種率の現況と期限が新年度で終わる旨の個別通知の方向性を伺う。（※接種率について資料希望）

(2) 带状疱疹ワクチン接種について

現在、带状疱疹ワクチンについては、国の審議会において、来年度に向けた定期接種化が了承され、各種報道では、接種年齢が「65歳」との見解が示されました。

そして、厚生労働省は、带状疱疹を予防するワクチンについて、接種費用を公費で補助する「定期接種」に位置づける方針を固めたことから、改めて、4点伺います。

- ① 市民の接種実績について伺う。（※全体の接種人数、年齢層別の接種人数、生ワクチン、不活化ワクチンの選択比率について分かる資料希望）
- ② 「定期接種」の対象年齢が仮に「65歳」となった場合、本市の助成事業の対象年齢の50歳から65歳未満、及び66歳以降の方々への助成は、変わらず継続できるのか伺う。
- ③ 「定期接種」の対象年齢が仮に「65歳」となった場合、対象年齢においては、国の公費（地方交付税）が見込めるため、現在の一般財源による市単独助成と今後の予算等を精査し、現在の助成額を接種費用の半額程度まで増額する方向性についても伺う。
- ④ 先の議会でも要望しているが、国の定期接種化の動向を見て、高齢者肺炎球菌ワクチンと同様に接種対象医療機関を、市外に拡大する方向性についても伺う。

17番 にいつま 亮

1. 2025年問題と少子高齢化対策について

(1) 2025年問題について

- ① 2025年問題とは、市の見解を伺う。
- ② 2025年問題が市に与える影響について伺う。
- ③ これまでの対策の成果と課題について伺う。

(2) 少子高齢化対策について

- ① 本市の団塊の世代の人口推移について伺う。
- ② 長寿化の進行状況について伺う。
- ③ 今後一層増えると見込まれる社会保障費の確保について、市の考えを伺う。

2. 市役所における健康経営推進に向けた取組について

- (1) 健康経営とは、市の見解を伺う。
- (2) 健康経営を掲げる自治体の増加の背景について、市の見解を伺う。
- (3) 健康経営推進について、現段階での市の見解を伺う。

3. 人事評価制度と職員育成について

(1) 人事評価制度について

- ① 制度趣旨と目的について伺う。
- ② 運用状況について伺う。
- ③ 評価の工夫について伺う。
- ④ 現在の制度の成果と課題について伺う。

(2) 職員育成について

- ① 本市の求める職員像について伺う。
- ② 職員育成の取組における成果と課題について伺う。
- ③ 人事評価制度の活用について伺う。

18番 江森 誠一

1. 令和7年度当初予算の概要について

- (1) 令和7年度当初予算の編成方針及び主な事業内容について
- (2) 令和7年度の市税・県税交付金・国・県支出金の見込みについて
- (3) 地方交付税の仕組みについて
- (4) 市債、臨時財政対策債・通常債の見込みについて
- (5) 行財政課題について

2. 交通安全対策について

- (1) 11月に発生した上日出谷地区及び加納地区での交通事故において、本市及び県警・上尾警察署の交通安全対策と事故現場の対策について
- (2) 小・中学校児童生徒への教育委員会による交通安全対策の徹底と指導について

3. 江川整備事業について

- (1) 市道1-4-1号橋架け替え工事が令和7年3月末完成と遅れる理由について
- (2) 江川調節池整備において底面利用の計画について

7 番 榑 萌美

1. ふるさと納税について

(1) 本市のふるさと納税の現状について

- ① 本市のふるさと納税における目的と取組について伺います。
- ② 寄付受入額、市民税影響額の推移について伺います。
- ③ ふるさと納税における地方交付税の関係について伺います。

(2) 業務支援委託について

- ① ポータルサイトの掲載先と業務支援委託先について伺います。
- ② 業務支援委託の選定から採択までの経緯と効果について伺います。
- ③ 業務支援委託のメリット・デメリットについて伺います。

(3) 本市のふるさと納税の活用について

- ① 寄付金の使途について伺います。
- ② 使途の選定理由について伺います。
- ③ プロジェクト型（ガバメントクラウドファンディング）について市の見解を伺います。

2. 職員の働きがいについて

(1) 職員数について

- ① 職員数と定年前退職者の5年間の推移と退職理由について伺います。
- ② 新規採用職員の応募件数と合格者数の推移について伺います。
- ③ 近隣市町村と比較した応募件数と合格者数について伺います。

(2) 人事評価について

- ① 本市の人事評価制度について伺います。
- ② 昇給、昇格の条件について伺います。
- ③ 人事評価と昇給、勤勉手当等の処遇と整合性について伺います。

(3) 人材育成について

- ① 本市の人材育成基本方針の目的と求める職員像について伺います。
- ② 求める職員の育成方法と育成状況について伺います。
- ③ 職員の求める職場環境、職場風土、キャリア形成について伺います。
- ④ 人材育成における人事評価の役割について伺います。

3. 生涯を通じた食育への取組について

(1) 食育への取組について

- ① ライフステージ別の健康課題の特徴について伺います。
- ② 本市の行う食育への取組について伺います。
- ③ 団体や企業との食育の連携について伺います。
- ④ デジタルを活用した食育への取組について伺います。
- ⑤ オケちゃん健康レシピの今までの取組と効果について伺います。

3 番 渡辺 まや

1. 自主防災組織に関して

(1) 防災意識を高めるための取組

- ① 現在の本市の防災意識について市の見解を伺います。
- ② 自助の防災意識向上のための取組を伺います。
- ③ 共助の防災意識向上のための取組を伺います。

(2) 自主防災組織と地域住民との連携について

- ① 自主防災組織の現在の課題を伺います。
- ② 地区防災計画の進捗状況を伺います。
- ③ 自主防災組織から地域住民の方たちへの災害時の最新情報などの伝達及び連絡手段を伺います。

2. 高齢者を取り残さないデジタル社会

(1) 情報弱者を生み出さない取組について

- ① 情報弱者に関する市の見解を伺います。
- ② 市から市民の皆さまへの情報の周知方法を伺います。

(2) 高齢者の方へのスマートフォンに関する支援について

- ① 高齢者の方がスマートフォンを保有する必要性に関して市の見解を伺います。
- ② 高齢者の方たちがスマートフォンを保有する際の課題を伺います。
- ③ 「スマホの活用講座」の目的を伺います。
- ④ 「スマホの活用講座」の参加率について伺います。

3. 他市より飛び抜けた子育て支援を目指して

(1) 令和6年度の桶川市子ども・子育て支援事業計画を踏まえた来年度の計画について

- ① 計画の方向性を伺います。
- ② 計画に市民の声をどのように反映するのかを伺います。
- ③ 令和6年度桶川市子ども・子育て支援事業計画第2章、行政への要望のうち「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」に対する今後の支援を伺います。

4. 新型コロナワクチンに関して

(1) 早期に健康被害者に対する支援体制を

- ① 本市のコロナワクチン健康被害救済制度の認定状況を伺います。
(資料の作成をお願いします)
- ② コロナワクチン定期接種の接種者数を伺います。
- ③ 市内医療機関から報告されているコロナワクチンに関する副反応疑いの症例内容を伺います。
- ④ コロナワクチンに関する健康被害の認定状況や、申請をする際の相談窓口を周知する予定はありますか。

5 番 北村 あやこ

1. 学校事故に対する教育委員会の姿勢

(1) 部活動中におけるケガの状況

① 昨年度今年度の各学校の部活動のケガや事故の状況を資料で報告願う。

(2) 桶中事件の解決に向けて、詳細調査と人権教育

① バスケ部のケガの多い理由は何か。

② 詳細調査について、前議会答弁後の進捗を伺う。

③ 解決に近づいていると認識しているか。

2. 保育所施設の更新について

(1) 公共施設配置計画の位置づけ

① 修繕、更新の優先順位は何か、基準を明確にしていきたい。

② 仮設鴨川保育所の有効活用は、なぜ検討しなかったのか。

(2) 勤労青少年ホームの跡地

① 高圧線下に保育所を建てる方針の検討内容を伺う。

3. 飛行学校、解決する気はあるのか

(1) 工事検査室の反省と見直し

① 工事検査もずさんであり、竣工図と現場が一致していないことも明らかになった。検査室としての責任を果たすべき。

(2) 前議会答弁について

① 「部材の選択に当たって、より建物の安全等に寄与する部材が選択されたものと認識している」との答弁の根拠と証拠を、資料で説明を求める。

4. 新庁舎耐震ブレースの調査結果

(1) 耐震ブレースについて

① 前議会以後、いつ、どのような形で調査をしたのか、その結果の報告を願う。

8 番 須山 陽一朗

1. 南小跡地利活用における情報共有と市民参加戦略について

(1) 情報共有について

- ① これまでの検討状況や進捗状況について、どのように情報開示をしているかについて伺う。
- ② 情報開示の具体的な方法と実績について、伺う。

(2) 市民参加戦略について

- ① 市民意見聴取の具体的な手法と実績について、伺う。
- ② 今後の市民参加の具体的な計画はあるか、伺う。

2. 桶川市における多文化共生の現状について

(1) 市内の外国人住民の推移と現状について

- ① 直近5年間の国籍別の外国人住民数の推移について、伺う。
- ② 外国人住民の年齢構成と職業分布の状況について、伺う。
- ③ 外国人住民の生活実態や抱えている課題について、伺う。

(2) 外国人住民への生活支援の現状について

- ① 日本語学習支援について、伺う。
- ② 行政手続の多言語対応の現状について、伺う。
- ③ 医療、教育、税金などの公共サービスへのアクセス支援について、伺う。
- ④ 外国人住民と地域コミュニティの交流について、伺う。

(3) 外国人児童生徒への教育支援の現状について

- ① 市内の外国人児童生徒の国籍別在籍状況について、伺う。
- ② 外国人児童生徒の日本語能力向上や学習サポートの取組について、伺う。
- ③ 外国人児童生徒の保護者への情報提供や相談支援の方法について、伺う。
- ④ 外国人児童生徒の教育現場での主な課題について、市の見解を伺う。

(4) 地域の安全・安心の確保について

- ① 外国人住民への防犯対策について、伺う。
- ② 外国人住民への災害時の支援体制について、伺う。
- ③ ゴミ出しルールなどの生活マナー啓発活動の取組状況について、伺う。

- ④ 相互理解のための文化交流イベントなどの開催状況について、伺う。